

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款款：教育費

項：高等学校費

目：教育振興費

### 事業名 地域産業の担い手育成総合戦略事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

教育委員会 高校教育課 産業教育係 電話番号：：058-272-1111 (内8664)

E-mail：c17786@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 12,400 千円 (前年度予算額： 12,400 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	12,400	5,997	0	0	0	0	0	0	6,403
要求額	12,400	5,997	0	0	0	0	0	0	6,403
決定額	12,400	5,997	0	0	0	0	0	0	6,403

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨(現状と課題)

令和5年教育振興基本計画を踏まえ、産業界等と連携し、地域資源(恵み)を活用し、地域の課題解決に向けた取組や実践的な体験等を通して、地域への愛着・誇りを持ち、地域の課題解決に主体的に参加する地域産業を担う専門的職業人の育成、国際感覚を有した職業人としての基盤形成等を推進していく。

### (2) 事業内容

#### ①産業界等と連携による協議会設置

地域資源を活用した取組に対し、産業界等と意見交換

#### ②地元産業界等の協力を得ながら、SDGsの視点等を踏まえた地域資源を活用した外部人材・外部施設設備の活用、学科・校種横断的な取組による専門的職業人の育成事業

- ・地域の課題解決に向け、専門家から学ぶ環境を構築し地域で活躍できる人材の育成
- ・外部施設設備の活用による先進的技術力の育成
- ・外部人材の活用、学科・校種横断的な取組等を通じて、地域の課題解決に向けた新たなイノベーション(付加価値を生み出す)・アイデア創出や地域資源を用いたブランド形成力、アントレプレナーシップ等の育成
- ・地元産業界と連携した実践的な学習活動の場面(企業での就業体験活動)を通して、地域産業を担う専門的職業人の育成

(3) 県負担・補助率の考え方

県負担10/10

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	2,848	講師等への謝金
旅費	1,846	講師、引率教員旅費
消耗品費	4,122	実習材料費等
保険料	384	賠償責任保険、傷害保険
使用料及び賃借料	3,200	バス借り上げ料等
合計	12,400	

**決定額の考え方**

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

・第4次岐阜県教育ビジョン

基本方針2 「未来を創る確かな学力と実践力」の育成

学びと将来とをつなぐ、地域と連携したキャリア教育の充実

スペシャリストを育成する産業教育の充実

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

#### ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

地域産業を担う人材育成を果たす専門高校として、教育振興基本計画に基づき、地元産業界等と連携しながら実践的・体験的な活動を通して、社会の形成に参画する態度・規範意識を醸成し、地域の課題解決・探究型学習の確立、専門的知識・技術力向上に向けた取組を教育プログラムを実施する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (H30)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R10)	達成率
						達成率
対象校就職者のうち 県内就職率	74.9%	75.5%	78.0%	80.0%	100.0%	75.5%

### ○指標を設定することができない場合の理由

--

### （これまでの取組内容と成果）

令和2年度	産業界等からの意見を踏まえ、各校において課題探究型学習の実施 地元企業の研究、職業教育の体験
令和3年度	産業界等からの意見を踏まえ、各校において課題探究型学習の実施 地元企業の研究・協働、職業教育の体験
令和4年度	産業界等からの意見を踏まえ、各校において課題探究型学習の実施 地元企業の研究・協働、職業教育の体験

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	地元産業界等との連携をさらに深め、地域産業界等とともに地元産業を担う地域社会人を育成する必要がある。生産年齢人口の減少が見込まれる中、地域産業を支える担い手育成が求められている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 3	学校・学科の特色を生かしながら、地元産業界等とも連携し地域資源を活用した取組が実施されている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	外部人材や外部施設設備等を有効活用しながら、地域社会人の育成につなげている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 産業界との持続的な連携・協力関係の構築</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 本県の産業を支え、地域産業を担う人材育成及び地域に貢献できる人材育成の観点から、外部人材・外部施設設備の活用やインターンシップ等を通して、実践的な学びを確保していく。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	